

東京大学大学院  
教育学研究科  
大学経営・政策コース

説明会

2020年5月

# <コース説明会 プログラム>

## 【第1部】 コース紹介

1. コース主任より 両角 亜希子 准教授
2. コースの概要 福留 東土 教授
3. 教員紹介 各教員

## 【第2部】 在学生・修了生によるコース紹介

### 1. 修了生

- －「修士修了生の立場から」 佐藤 寛也(東京大学)
- －「博士修了生の立場から」 木村 弘志(一橋大学)
- －「フルタイム学生の立場から」 蝶 慎一(広島大学)

### 2. 在学生

- －「博士課程院生の立場から」 森 卓也(博士課程3年)
- －「留学生の立場から」 胡 雲潼(博士課程1年)
- －「修士課程院生の立場から」 小山田 彩、鈴木 拓人、中里 祐紀、  
村松 あづさ(修士課程2年)

# コースの目的と特徴



2005年度に開設、現在16年目



対象：現職の大学・高等教育の管理者・職員、政策担当者や、将来当該分野の研究者、実践者を目指している方



大学の管理運営および高等教育政策について、国際的動向を視野に入れながら、理論的・実践的な教育を行う。



平日夜間および土曜日の履修だけで修士号・博士号が取得できるよう配慮。

# 教育研究スタッフ

- 専任教員(現在2名。来年度は3名。定員は4名)
  - 比較大学論 一福留 東土 教授
  - 大学経営論 一両角 亜希子 准教授
  - 大学政策論 一阿曾沼 明裕 教授(2021年4月着任予定)
  - 大学経営論 (選考中)
- 客員教授
  - 小方 直幸(香川大学教育学部・准教授)
  - 杉本 和弘(東北大学・高度教養教育・学生支援機構・教授)
- 非常勤講師
  - 大西 晶子(東京大学相談支援研究開発センター・准教授)
  - 浅野 茂(山形大学学術研究院・教授)
  - 石橋 晶(文化庁 文化資源活用課・文化遺産国際協力室長)
  - 大多和 直樹(お茶の水女子大学 准教授)
  - 佐藤 浩章(大阪大学全学教育推進機構・准教授)
  - 濱中 義隆(国立教育政策研究所・高等教育研究部 副部長・総括研究官)
  - 深堀 聰子(九州大学 教育改革推進本部・教授)
  - 松坂 浩史(文部科学省高等教育局・私学行政課長)
  - 松下 佳代(京都大学高等教育研究開発推進センター・教授)
- このほかにも、講義・演習の特別ゲストとして、著名な研究者や経営者、および文部科学省幹部職員も加えて、実践面の教育にも力を入れています。

# 学生定員と現在の学生数

	博士課程	修士課程
定員（1学年）	4	13
現在の学生数（合計）	26	31
（内訳） 社会人学生	(21)	(27)
フルタイム国内学生	(3)	(2)
外国人留学生	(2)	(2)

- 身分・年齢（役員から一般職員、20代から60代）も多様
- 学部での専攻も多様

コース入学者の属性についてはコースウェブサイトをご覧ください

<http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/about/cat37/>

# 講義題目一覧(2020年度)

科目区分	科目名	内容	開講時期	
基本研究	高等教育政策論	高等教育政策の特徴と展開	A1A2	土
	高等教育論	大学の歴史・教育内容・社会的機能	S2	土
	大学経営論	大学の組織・ガバナンス・マネジメント・リーダーシップ・大学経営人材	S1	土
	比較大学論	大学制度・経営・教育の国際比較	A1A2	土
	大学経営政策演習(1)	博士課程向け演習	通年	土
	大学経営政策研究	大学経営・政策の方法論	通年	土
特殊研究	大学経営政策各論(3)	大学の国際化：多様な支援と質保証	S1S2	土
	大学経営政策各論(4)	大学の教学マネジメント	A1A2	土
	高等教育調査の方法と解析(1)	高等教育に関する調査の方法と解析基礎	8-9月	集中
	高等教育調査の方法と解析(2)	進路選択・教育投資・費用負担についての経済理論と計測法	A1A2	木
	比較大学経営論(2)	現地協力大学と共同で、海外での集中講義として実施する	A2	集中
	大学経営事例研究(1)	特定のテーマについての事例分析	通年	集中
	大学経営政策論文指導	修士論文・博士論文の研究指導	通年	土

# 学位取得要件

修士課程	計30単位 (15科目) 以上	大学経営政策基本研究から 6単位 (3科目) 以上
		大学経営政策特殊研究から 8単位 (4科目) 以上
		大学経営政策論文指導 4単位 (隔週通年、2年)
	修士論文	
博士課程	計20単位 (10科目) 以上	大学経営政策特殊研究から 6単位 (3科目) 以上
		大学経営政策論文指導 4単位 (隔年通年、2年)
	博士論文	

# 修士課程の履修モデルA: 2年間まんべんなく履修するパターン

	1年目・夏	1年目・冬	2年目・夏	2年目・冬	修得単位数
基本研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高等教育論</li> <li>◆大学経営論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高等教育政策論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆比較大学経営論 (2) (集中)</li> <li>◆大学経営政策研究 (通年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆大学経営政策研究 (通年)</li> </ul>	10
特殊研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各論(1)</li> <li>◆高等教育調査の方法と解析(1) (集中)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各論(2)</li> <li>◆高等教育調査の方法と解析(2)</li> <li>◆大学経営特論 (集中)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各論(3)</li> <li>◆大学財務会計特論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各論(4)</li> <li>◆比較大学論</li> </ul>	18
論文指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆論文指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆論文指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆論文指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆論文指導</li> </ul>	4
合計取得単位					32



# 修士課程の履修モデルB: 1年目に授業を多く取るパターン

	1年目・夏	1年目・冬	2年目・夏	2年目・冬	修得単位数
<b>基本研究</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 高等教育論</li> <li>◆ 大学経営論</li> <li>◆ 比較大学経営論 (1) (集中)</li> <li>◆ 大学経営政策研究 (通年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 大学経営政策研究 (通年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 比較大学経営論 (2) (集中)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 高等教育政策論</li> </ul>	12
<b>特殊研究</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 各論(1)</li> <li>◆ 高等教育調査の方法と解析 (1) (集中)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 各論(2)</li> <li>◆ 比較大学論</li> <li>◆ 高等教育調査の方法と解析 (2)</li> <li>◆ 大学経営特論 (集中)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 各論(3)</li> <li>◆ 大学財務会計特論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 各論(4)</li> </ul>	18
<b>論文指導</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 論文指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 論文指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 論文指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 論文指導</li> </ul>	4
<b>合計取得単位</b>					34

# 過去の修士論文テーマ (2019年度修了者の例、副題省略)

- 東京大学の学園祭史
- アメリカの大学における海外留学プログラムとその実施体制
- 国立大学における職員の採用に関する考察
- 学際的な教育研究を目的とした組織設立に関する研究
- 地域振興に向けた芸術系公立大学の取組に関する研究
- 人文社会系博士課程の大学院教育に関する研究
- 高等学校からみた高大接続改革
- 進学大学決定に至る選択プロセスに関する研究
- 首都圏中堅私立大学における規模拡大行動と教育改善行動
- 私立大学における労働組合に関する研究
- 中国における大学への基礎研究費の配分に関する実証的研究
- 中国の大学における専攻分野選択に関する研究

※他の年度の修士論文のタイトルは、コースのHPで見ることができます

<http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/results/student/>

# 過去の博士論文テーマ

- 日本の大学職員の職務遂行高度化に関する研究
- 戦後初期における「厚生補導」の形成過程に関する研究
- 高等教育市場化における私立大学の財務に関する研究
- 台湾大学生のキャンパス経験と学習成果の関係に関する分析
- 中国における独立学院の人材育成と学習行動に関する実証的研究
- 近代日本における私立高等教育機関の経営と財務
- 米国高等教育における学習成果アセスメント
- 米国の高等教育における個人寄付の拡大に関する研究
- 中国における大学奨学金制度とその効果
- アメリカの大学の基本財産
- 中国の大学における教養教育の政策とカリキュラム改革



# 大学経営・政策研究センター

- コースに併設されている大学経営・政策研究センター(CRUMP)では、大学・高等教育に関する全国調査など、各種の調査研究活動を実施しています。
- 調査データは、コース教員と相談の上で、コースの大学院生が研究に活用することができます。
- これまでに以下のような全国調査を実施し、そのデータは政策関連文書などに数多く引用されてきました。
  - 全国大学生調査
  - 大学上級管理職調査(大学の財務運営に関する理事調査／大学上級管理職の現状と将来展望に関する調査)
  - 高校生調査(高校生の進路についての調査)
  - 職業人調査(大学教育についての職業人調査)
  - 全国大学教員調査
  - 全国大学事務職員調査
- また、センターでは毎年、国内外の専門家を招いた公開研究セミナーを開催しています
- 詳しくは、センターのHPをご覧ください <http://ump.p.u-tokyo.ac.jp/crump/>

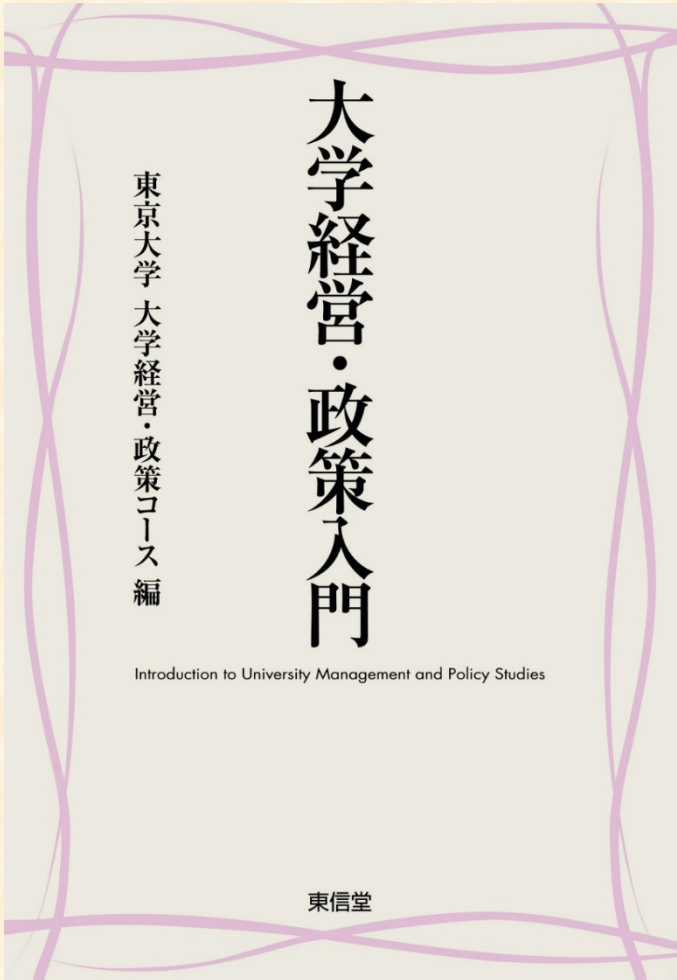
# 同窓会組織

## 「大学経営・政策フォーラム」

- コース修了生の同窓会
- 1期生から14期生まで多数が参加
- コース終了後も修了生間の交流を継続できる
- さまざまな大学、職場に務める修了生間の自律的なネットワーク組織
- 毎年の総会、年数回の懇親会、ホームカミングデーのトークセッションなどを開催
- コースでは、修了生の学会発表、論文執筆を支援
- 一部コース授業、論文発表会などコース行事への参加

# 書籍紹介 その1

## 東京大学 大学経営・政策コース編 『大学経営・政策入門』東信堂、 2018年



第1章	大学の経営・政策と市場
第2章	大学の理念・制度・歴史
第3章	高等教育政策の特質
第4章	大学の組織
第5章	大学の財務管理
第6章	大学の人事管理
第7章	学生の募集戦略
第8章	教学のマネジメント
第9章	研究のマネジメント
第10章	大学の国際化
第11章	大学のガバナンス
第12章	大学経営・政策の展望

# 書籍紹介 その2

小方直幸編『大学マネジメント論』  
放送大学、2020年



- 第1章 大学のマネジメントとは
- 第2章 大学の歴史と理念
- 第3章 日本の大学制度
- 第4章 大学政策の展開と変容
- 第5章 大学の組織とガバナンス
- 第6章 組織のマネジメント
- 第7章 人事のマネジメント
- 第8章 財務のマネジメント
- 第9章 施設のマネジメント
- 第10章 大学の評価とIR
- 第11章 教育のマネジメント
- 第12章 研究のマネジメント
- 第13章 学生の募集と学生支援
- 第14章 大学の国際化
- 第15章 大学と地域・社会連携

ラジオで番組配信中